

# 渋谷区公園施設長寿命化計画の概要

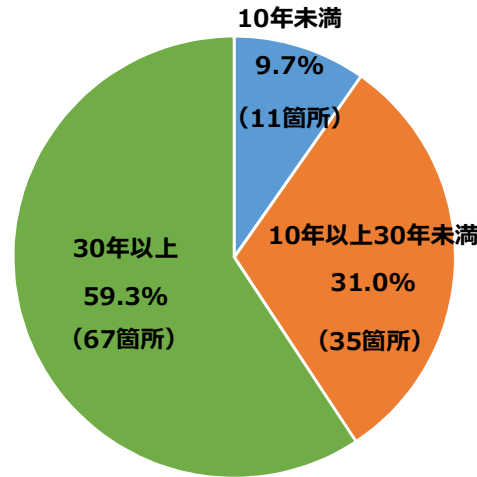
## 計画を策定する背景と目的

**背景・目的** 公共施設の老朽化が進行し、補修に伴う**維持管理費用の増大が懸念**されるため、公園施設についても、従来の**事後保全型管理を予防保全型管理へ転換**することで**安全性の確保と財政負担の軽減・平準化**を図ります。

## 対象施設の現状

**対象** 渋谷区が管理している130公園のうち113公園を対象とします。

区分	対象公園の数（箇所）
街区公園	109
近隣公園	2
総合公園	2
合計	113



**現状** 113公園のうち、6割近い公園が開園から30年以上経過しています。また、健全度調査の結果、対象である1,149施設のうち**D判定**（全体的に顕著な劣化）が3施設、**C判定**（全体的に劣化）が132施設でした。



A	全体的に健全
B	全体的に健全だが、部分的に劣化
C	全体的に劣化
D	全体的に顕著な劣化

## 今後の対応方針

### 方針1

**公園施設毎に予防保全型管理・事後保全型管理の実施**

#### 予防保全型管理

・遊具  
・東屋  
・擁壁  
・照明

#### 事後保全型管理

・トイレ  
・バーゴラ  
・引込柱  
・時計

・予防保全型管理以外の全施設（記念碑、門扉、柵、手摺など）

### 方針2

**定期的な点検による健全性の把握**

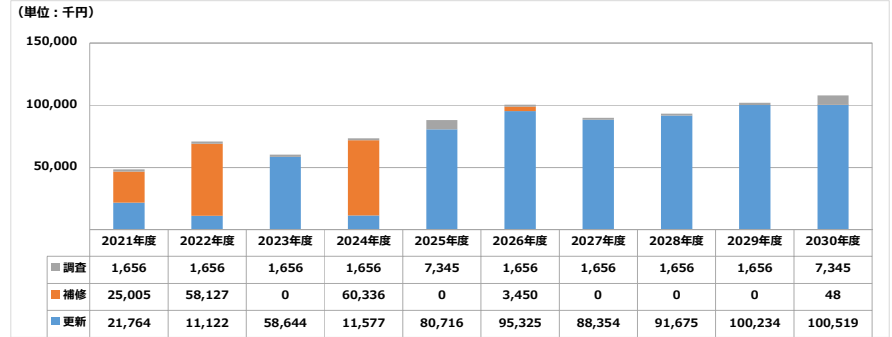
【点検の種類】  
日常点検  
公園管理者が、日常業務の中で目視、触診などにより、施設の変形や異常の有無を調査

定期点検  
遊具：1年に1回、有資格者にて実施  
建築物：3年に1回、有資格者にて実施  
設備：1年に1回、有資格者にて実施  
その他予防保全型管理施設：5年に1回、有資格者にて実施

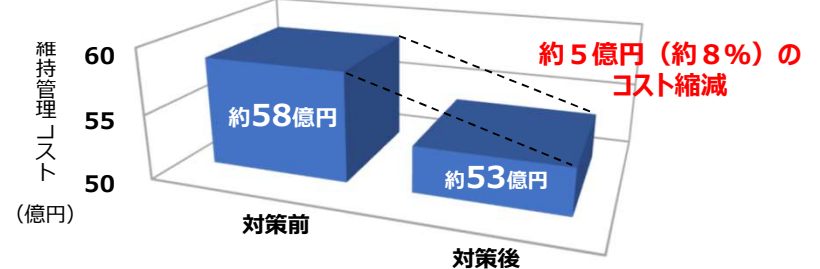
### 方針3

**計画的な維持管理の実施**

施設の健全度調査結果や使用見込み期間を勘案し年次計画を作成



### コスト削減効果（30年間）



### 方針4

**魅力ある公園整備にむけた大規模更新の検討**

公園施設の長寿命化対策を実施するとともに、別途定める「渋谷区魅力ある公園整備計画」を踏まえて、公園の大規模更新（リニューアル）を実施することも検討します。